

あかしん

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ <http://www.akai-shinbunten.net> <発行所>あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎<0569>72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎<0569>35-2861

クロスメディアを総合力でプロデュースする

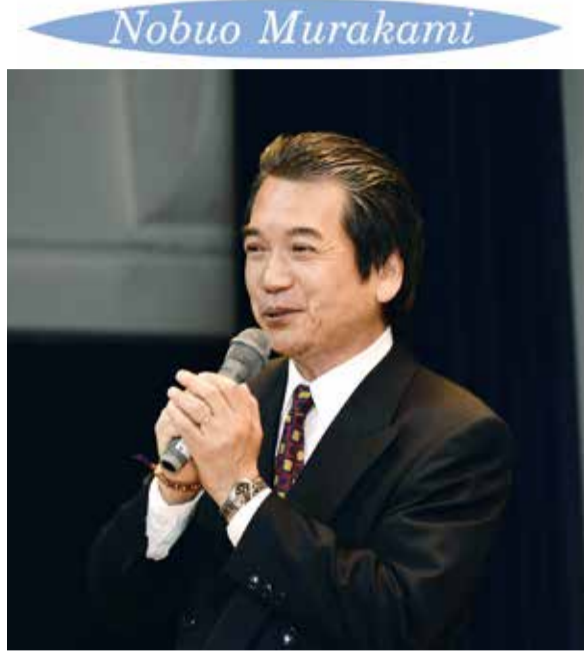
PTC GROUP

半田中央印刷株式会社

〒475-0032 愛知県半田市潮干町1番地の21
TEL 0569-29-2525 (代) FAX 0569-29-4500
<http://www.handa-cp.co.jp>

元氣のでてくる「ことばたち」

200



村上信夫

というのにまだ読んでいますね。もう読むのがやめられなくなりましたね。とうとう最後まで読んでしまいましたね。僕はあなたが大好きです。息子のボクが読んでいても顔から

食にこだわっていた。スーパーの売り場で、ちくわが目にとまったことがある。母は、歯が丈夫でなかったで、ちくわやはんぺんを好んで食べていた。頼まれて買い物に行ったものの、「ご指定のちくわ」でないこと取り替えに行かされたこともある。母の「ご指定のちくわ」を見かけた瞬間、熱

気をつけてね

母 村上たづ子

火が出そうだが、一途な想いが母の心をとらえたのだろう。そのおかげで、ボクが存在している。

母は、丁寧に丁寧に生きてきた人だった。特に、料理には手をかけた。料理番組が始まると、一言も聞き流さないうようにして、大学ノートにメモを取っていた。手を変え品を変え、献立を考え、毎日の食卓に美味しい料理を並べてくれた。ボクにとって「おふくろの味」は一つに絞りきれない。

母は、もてなし上手だった。ボクが幼いころ、来客の絶え間がなかった。母の手料理目当てだったことは言うまでもない。

寝たきり状態になる寸前まで、不自由な身体を押して台所に立っていた。亡くなる直前に、何か言いたいことはないかと問うと、「菜の花の和え物が食べたい」と答えが返ってきた。最後まで、

■村上信夫プロフィール

2001年から11年に渡り、『ラジオビタミン』や『鎌田實いのちの対話』など、NHKラジオの「声」として活躍。現在は、全国を回り「嬉しい言葉の種まき」(毎週日曜10:00~)、月刊『清流』連載対談〜ときめきトークなどで、新たな境地を開いている。各地で『ことば磨き塾』主宰。1953年、京都生まれ。元NHKエグゼクティブアナウンサー。これまで、『おはよう日本』『ニュース7』『育児カレンダー』などを担当。著書に『嬉しいことばの種まき』『ことばのビタミン』(近代文藝社)『ラジオが好き!』(海竜社)など。趣味、将棋(二段)。
<http://murakaminobuo.com>



俳画/イネ・セイミ

いものがこみあげてきた。スーパーでちくわを見て泣いている男など、どこにもいまい。

母は、ユーモアセンスのある人でもあった。エイプリルフルには、よく引っかけた。ボクは横綱・柏戸の大ファンだった。ある年の4月1日、「(家の近くの)金閣寺に柏戸が来てるで」と言われ、「え!ほんま」と喜び勇んで、家を飛び出そうとした。背後で、ケラケラ笑っている

母の声を聞いて、「あつ、またやられた」と気づいた。このことは、忘れられない思い出だ。

母は、ラジオが大好きだった。一日中、ラジオがつけっぱなしだった。NHKが中心だが、TBSも文化放送もニッポン放送も聞いていた。ボク以上に各局のアナウンサー事情にも精通していた。ラジオから得た雑学を教えてもらうことも多かった。

生前、たいした親孝行も出来なかったが、ボクが、NHKラジオで11年間番組を担当出来たことは、何よりの親孝行だった。面と向かつては言えないので、自分の誕生日にドサクサ紛れに「母さん、生んでくれてありがとう」とマイクに向かって言ったことがある。

寄り添うことば

六十代に入ってから、頸椎のヘルニアで、「痛い、辛い、しんどい」の毎日だった。笑顔も少なくなり、眉間に皺がよることが多くなった。おまけに潔癖症に拍車がかかり、ボクは煩わしくて、あまり実家に行かなくなった。

スーパーに買い物に行ったこともない掃除や洗濯をしたこともなかった父が、母のサポートをする姿に感心していたが、恋文の存在を知って合点がいった。愛ゆえのことである。その父が亡くなったからは、「寂しい」が加わった。

なかなか嬉しいことばを言わない母に、息子はなかなか聞く耳を持たなかった。「痛いのは生きてる証拠」などひどいことを言った。「あんだ、アナウンサーやる。どうしてもっと優しい言い方

できひんの」と母を嘆かせた。

「痛いよね」「辛いよね」「しんどいよね」どうして、ことばで寄り添えなかったのか、後悔先に立たずだ。母と、もつと話しておけばよかった。いつも生返事いつも短時間。

だが、最期の日は、5時間ベッドサイドにいた。腸閉塞を起こし、救急車で運ばれ、尿毒症を併発し、かなり厳しい状態だったが、母は死ぬ気などなく、弱弱しい声ながら饒舌だった。「菜の花」のこと以外にも、病状のこと、夢に父が出てきた話、生まれてくるひ孫の話...いろんな話が出来た。そして、一旦引き上げるからと告げると、しっかりと目を見据えて「気をつけてね」と言ってくれた。その3時間後、容態が急変したのだ。

父の最期の時も、前後、ゆつくり話せた。別れ際に聞いたことばは、「気をつけてな」。

父も母も、病身ながら、息子を氣遣う「気をつけて」が最期のことば。吉田松陰の歌にもある「親思う心にまさる親心」なのである。

嬉しいことばの種まき

好評発売中

イネ・セイミプロフィール

フルート奏者として活躍中。俳画家。絵画を幼少より日展画家の(故)川村行雄氏に師事。俳画を華道彩生会家元(故)村松一平氏に師事。俳画の描法をもとに、少女猫等を独自のやさしいタッチで描いている。個展多数。

俳画教室開講中

常滑屋

とき 俳画教室月二回 午後一時~三時

会費 一回 二、二五〇円(三ヶ月分前納制)

問合せ ☎〇五六九(三三)〇四七〇

インディアンフルート教室開講中

誰でも簡単に音が出せる楽器です。あなたも今日からインディアンフルートを奏でる姿が素敵です。

講師 イネ・セイミ

(日本インディアンフルート協会ディレクター) 1レッスン・30分3,500円 会場・半田市柳ヶ丘

申込み 0569-89-7127

お問合せ seimi@oasis.ocn.ne.jp

入会受付中!!

何か始めたいと思ってる貴女へ、数年後、素敵にフルートを奏でる姿が素敵です。

入会費 5,000円

年会費 10,000円

入会申し込み 0569-89-7127

お問合せ seimi@oasis.ocn.ne.jp

山崎方代をめぐって (9) 杉本武之

①長倉智恵雄の短歌

長倉禮子・久子姉妹の父親の長倉智恵雄の短歌を紹介。ここでは、方代のことを詠んだものだけを引用します。

- 方代の嘘がまことになりゆきて 人々さわぐ村おこしのために
- 方代さんと言えは出てくる村人ら みな笑みまわっているぞよろしき
- 方代の生まれし家の跡という 石に並びて写真を撮りぬ
- 方代のえにしを持ちてこの村に 幾たびか来つ来るたび親し
- 幼き日ビラ貼る君にまつわりし 子ら伴いて遠く来にけり
- 「子ら」とは、久子さんと姉の禮子さんのことです。
- み墓辺りに手向けし花のおびただし 君み

まかりて幾年経たる 墓石は色あざやかなスカーフの 鉢巻をせり方代さんよ

・スカーフを巻きしお墓の頭より 洒かけて南無方代無願居士

・右左の村にわが知る幾人が 祭の法被着て会いに来る

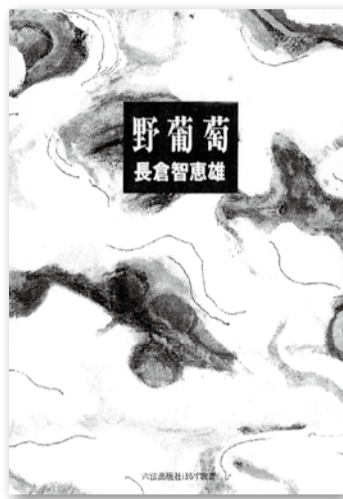
・若き日にわれは来たりて方代と 酒呑み歌をあげつらいたる

最後に、私が生まれ育ち、そして現在も住んでいる大浜(碧南市の南の地域)に来て詠んだ歌を見つけてきましたので、引用しておきます。

倉中期に一遍が開いた宗派)の寺です。史実かどうかは知りませんが、この寺で開かれた歌会に参加していた徳川家康の父・松平広忠が、長男の幼名として「竹千

死した西方寺があります。大浜は寺の多い所です。

②「三展 歌人・方代さんとその周辺」の開催 2013年の5月中旬



長倉智恵雄歌集「野葡萄」

月末から方代に関する展示会を開く予定だと書かれていました。

その年の夏は酷暑でした。この暑い中、静岡へなかなか行く気になれませんでした。

9月になって、お姉さんから次のような案内状が届きました。

「歌人の山崎方代さんが他界してから28年になります。来年は方代さんの生誕100年を迎えます。方代さんは静岡にも少なからぬゆかりがありました。

方代さんを知る人も知らない人も、方代さんと出合っていたらという思いで、ささやかなものですが、直接・間接に方代さんと関わりのある資料の展示を企画しました。初めての展示物もありますので、ご覧いただけましたら幸いです。

「展示内容の一部」

- 山崎方代の書軸、歌集、写真、方代さん紹介・研究に関する本、雑誌など
- 山下陸奥の手書き歌稿、書軸、色紙、歌集など
- 川田順の書軸、歌集など
- 二路「工人」の同人たちの歌集、手紙など
- 長倉智恵雄の初期の歌稿、シベリア抑留体験、戦後の文学活動など

「期間」

2013年6月23日(日) 9月23日(月)・(祝) 金(月)曜日(火・水・木曜日はお休み)

「開催時間」

1時半～5時半

「会場」

駿府ロマンバス(駿府通り二番街) 浅間通り

私は9月20日(金)に行きました。

三河安城から新幹線に乗り、静岡で降り、駅の案内所に直行しました。駿府公園と浅間神社

社への道を尋ねたら、係の人から県庁の21階のロビーから周辺の景観を展望するように勧められました。

手渡してくれた案内図を頼りに県庁に行きました。小学3年生が社会見学に来ていました。引率していた女の先生が、「いま、静岡市のことを勉強しているのです」と言っていました。小学校で担任をしていた頃のことを懐かしく思い出しました。

高いところからの眺めは格別でした。駅の案内所の係の人が「多分見られないでしょう」と言っていた富士山も見ることができました。

屋敷に、長倉家の近くの店でざる蕎麦を食べました。久しぶりにおいしい蕎麦に出会いました。ビールのおつまみとして食べた桜エビの天麩羅もおいしかった。

さて、展示会の資料は豊富に取り揃えてありました。

方代が長倉家に滞在していた時に撮った写真

も何枚かありました。

長倉さんのお父さんと高杉一郎や峠三吉や川田順といった著名人との交友関係を示す資料がたくさん並べられていました。

私はすっかり興奮してしまいました。

②加納実紀代さんについて

翌日、私は友人の加納実紀代さんに手紙を書きました。(その内容は次回に書きます)

加納さんと私と長倉久子さんは、大学での同級生です。

彼女はフェミニズムの研究者です。私は彼女の仕事を高く評価し、人間的にも尊敬しています。彼女は、1977年に「私たちの現在を問う会」という研究グループを結成しました。そして、その研究成果を『銃後史ノート』(戦前篇10巻・戦後篇8巻)として発表しました。それは、母親たちの「戦争協力」を問うという重い内容の研究でした。創刊の辞

にこう書かれています。

「母たちはたしかに戦争の被害者であった。しかし同時に侵略戦争を支える銃後の女でもあった。何故にそうでしかあり得なかったのか」

彼女の代表作は『彼女の銃後』です。

彼女は広島での原子爆弾の被爆者でした。今年の年賀状にはこう書かれていました。

「戦後70年の年が明けました。わたしにとって被爆70年でもありません。目に残る累々たる黒焦げ死体と放射能への恐怖を抱えて生きた70年でした(後略)」



杉本武之プロフィール

京都大学文学部卒業。翻訳業を経て、小学校教師になるために愛知教育大学に入学。25年間、西尾市の小中学校に勤務。定年退職後、名古屋大学教育学部の大学院で学ぶ。

趣味は読書と競馬。

この指とまれ (231) 氏原朝信

三学期になり、日頃、子どもたちの成長した姿を観察されているいろいろの感想を詩や文章にし、寄稿してもらったものを紹介します。

画でローラーをくるくる回して大きな黄色の紙にうつしました。どこの班もじょうずでした。でも「イカちゅう」と「天才バカボン」の班がおくれました。イカちゅうの班は間に合っ

雑草であれ

T・M男の母

緑一面の中の小さな小さな若草よ 寒いからって 負けるんじやないよ 若草よ

悲しいからって 泣くんじやないよ 甘ったれば 卒業しようね 踏まれたって 立ち上がろう 踏まれたって 根をはろう

私の好きな、私の好きな 雑草よ 数多くの花の中の草花よ 数多くの花の中の草花よ 美しい花でなくてもいいんだよ

私の好きな、私の好きな やさしい、やさしい 雑草であれ

雑草であれ

T・M男の母

緑一面の中の小さな小さな若草よ 寒いからって 負けるんじやないよ 若草よ

悲しいからって 泣くんじやないよ 甘ったれば 卒業しようね 踏まれたって 立ち上がろう 踏まれたって 根をはろう

私の好きな、私の好きな 雑草よ 数多くの花の中の草花よ 数多くの花の中の草花よ 美しい花でなくてもいいんだよ

私の好きな、私の好きな やさしい、やさしい 雑草であれ

雑草であれ

T・M男の母

緑一面の中の小さな小さな若草よ 寒いからって 負けるんじやないよ 若草よ

悲しいからって 泣くんじやないよ 甘ったれば 卒業しようね 踏まれたって 立ち上がろう 踏まれたって 根をはろう

私の好きな、私の好きな 雑草よ 数多くの花の中の草花よ 数多くの花の中の草花よ 美しい花でなくてもいいんだよ

私の好きな、私の好きな やさしい、やさしい 雑草であれ

雑草であれ

T・M男の母

緑一面の中の小さな小さな若草よ 寒いからって 負けるんじやないよ 若草よ

悲しいからって 泣くんじやないよ 甘ったれば 卒業しようね 踏まれたって 立ち上がろう 踏まれたって 根をはろう

私の好きな、私の好きな 雑草よ 数多くの花の中の草花よ 数多くの花の中の草花よ 美しい花でなくてもいいんだよ

私の好きな、私の好きな やさしい、やさしい 雑草であれ

雑草であれ

T・M男の母

緑一面の中の小さな小さな若草よ 寒いからって 負けるんじやないよ 若草よ

悲しいからって 泣くんじやないよ 甘ったれば 卒業しようね 踏まれたって 立ち上がろう 踏まれたって 根をはろう

私の好きな、私の好きな 雑草よ 数多くの花の中の草花よ 数多くの花の中の草花よ 美しい花でなくてもいいんだよ

私の好きな、私の好きな やさしい、やさしい 雑草であれ

班日記より

①ニヤンコ (1月17日(月))

T・M男

一時間目の放課に場所かえをしました。でも一週間ずつ場所をかえるので、毎週月曜日になるとすぐ場所をまちがえるのです。なので、月曜日は、やだのです。

※学級経営の要である班活動を行つているため、席替えではなく、班ごとに時計回りで移動するのです。班の中の席移動はよいことにしていました。

②ジョーズ (1月20日(木))

N・K女

五時間目に、図工のはん

画でローラーをくるくる回して大きな黄色の紙にうつしました。どこの班もじょうずでした。でも「イカちゅう」と「天才バカボン」の班がおくれました。イカちゅうの班は間に合っ

てローラーでやりました。でも天才バカボンの班はできませんでした。

時間がきたので、やめてきれいにたたづけて帰りました。

これからは、もう少し早くやった方がいいと思うけど、グチャグチャで早くできるなら、だれでもできる。早くでききれいにやろう。

雑草であれ

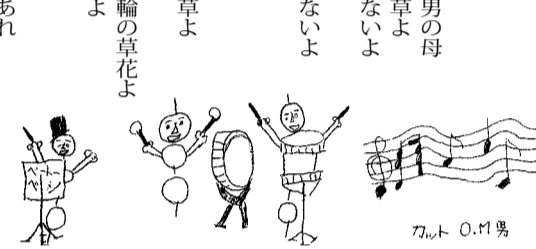
T・M男の母

緑一面の中の小さな小さな若草よ 寒いからって 負けるんじやないよ 若草よ

悲しいからって 泣くんじやないよ 甘ったれば 卒業しようね 踏まれたって 立ち上がろう 踏まれたって 根をはろう

私の好きな、私の好きな 雑草よ 数多くの花の中の草花よ 数多くの花の中の草花よ 美しい花でなくてもいいんだよ

私の好きな、私の好きな やさしい、やさしい 雑草であれ



料理研究家 長澤晶子のSPEED★COOKING!

簡単! 塩バターぱん

今、話題の塩バターぱんです!!湿度と気温が高い梅雨の季節は自然発酵でパンづくりが楽しめますよ!

●パン生地 ● 4個分

- 強力粉...200g
- イースト...4g
- 砂糖...10g
- 塩...3g
- 水...120~140cc
- サラダ油...20cc

●トッピング●

- 塩...適量
- 無塩バター...適量

【作り方】

- こねる (A)をボールに入れよく混ぜる。(B)を少しずつ入れよくこねる。20分ほどこねあわせたら(C)を加え、さらによくこねる。
- 発酵 ①が乾燥しない様にラップをし、2倍の大きさにふくらむまで待つ。
- 切り分ける 乾いたまな板の上に分量外の強力粉を茶こしてふるい、そこへ②のボールからパン生地を取り出し、4等分に包丁で切る。
- 型をつくる 取り出した1つを→巻いて→手で涙型にする→しゃもじサイズのはし→3巻いてロールする。
- 最終発酵 オープン皿にオープンシートを敷いて2倍に大きくなってもくっつかない位置に並べる。
- オーブンで焼く オープンを200℃に予熱して200℃10分焼く。表面も裏面も焼き色がきつた色にこんがり色になればOK!
- そのままでも、レタスやハムをはさんでオープンサンドにしてもとてもおいしいですよ!!

常滑市民文化会館

▼スタインウェイ ピアノコンサート

▼50周年記念コンサート

▼常滑市立図書館

▼常滑市立図書館

▼常滑市立図書館

常滑市立図書館

▼常滑市立図書館

▼常滑市立図書館

▼常滑市立図書館

常滑市立図書館

▼常滑市立図書館

▼常滑市立図書館

▼常滑市立図書館

大阪屋葬祭

誠意をこめて安心のお手強い 年中無休・24時間体制

常滑ホール 鬼崎ホール 阿久比ホール

TEL<0569>35-4949 (代表)

FAX 35-4911

知多の新鮮たまご 発酵ケイフン

(有)知多エッグ

知多郡武豊二ツ峯380 TEL0569-73-6341

新シリーズ ヒューマンライフ

『新・現代家庭考』 就職

—自分ドラマつくろう— (50) 岡田 清治

嫁の就職2

舞はコーヒをすすするように飲みながら話を続けた。真三は舞の問題意識は是としながらも「何かを心配しているのだろうか」と会話を進めながらも思い計った。

「真三もコーヒを一口飲んで後、話を続けた。」

「そうだね。今の日本社会で衣食住がなんとか満たされていると、転職するのわりと気軽にできてしまうかも。叔父さんの頃はとても転職する気になれなかったが、同業者で経験者を求めるところがあれば、結構、移って行った人もいたね。舞さんのお父さんも転職組だったね。」

「そうですが、生前、あまり詳しくは聞いたことがありません。」

「そらそうだろう。まだ舞さんに聞かせる年齢でもなかったから仕方がないし、舞さんが生まれたころには新しい会社に移っていたのだから。」

「そうですね。私も恐らく転職の意味が理解できなかったと思います。」

「彼の場合はある種の引き抜きだった。大学を出てその会社の入社試験を受けたがすべった。そこで二次志望の新聞社に入って社会部の配属となり大学を担当した。新聞記者は地域ごとに記者クラブがあって、多くの記者はクラブ詰めといって、そこを拠点に取材活動をする。」

大学担当は中央では文部科学省の記者クラブが拠点になるが、たとえば東大とか京大といったところは、学内に記者室を設け学長会見やイベント等の発表に便宜を図っているところも多い。こうしたことから出先の記者は他社の記者と接触する機会がある。

記者クラブは親睦団体ではあるが、現実には共同発表や共同記者会見に利用される。このため多くの新聞紙面が同じような内容になる。もちろん日頃は記者それぞれがテーマを持って独自取材してスクープ合戦も繰り広げている。このため親睦団体である記者クラブにいても内心は他紙に抜かれぬかと戦々恐々としている。というのは本社デスク(上司)が毎日のように他紙と読み比べ抜かれていないかチェックしている。もし特落ち(大ニュースを抜かれた)なら電話で怒鳴られる。そうなるのを後追いつけるわけだが、このときほど記者はみじめになると健太郎から聞いた。

「新聞記者の活動は外部からはわかりにくいですね。」

「そうだな。身近にいるから多少わかるが、全体には排他的であるようだ。これだけ国際化が叫ばれているのに、外人記者、また雑誌記者やフリーライターは記者クラブに入れない。新聞協会に所属していることが最低条件で、親睦団体とは名ばかりだと、とくに外人記者からは批判を浴びている。ただ、記者クラブ側にも言い分があって、長い歴史の中で言論の弾圧、報道の自由が脅かされた経験があるものだから、最後の砦として大事に守っていきたいという思いが強いようだ。」

「政府も記者クラブを重要視しているのですか。」

「そうだが、もっと積極的に利用している。例えばある政策を推し進めようとするとき、記者発表して世論を誘導することなどがある。記者クラブも人の子だから大きいものに巻かれるという気持ちが働く。もし徹底

して政府に反旗を翻し続けたら、財務省、特に国税局の査察を受け、下手すると経営の基盤が揺らぐ危惧もないわけではない。一般の民間企業ならとても政府に反発はできないが、そこはメディアだから読者離れが何よりも怖い。少なくとも批判精神は堅持しようとする。」



写真:香嵐溪(著者撮影)

「新聞社の中には国有地の払い下げの恩恵を受けているところもあって、そういうところはまことに権力者に弱く、むしろ権力者にすり寄りしている。」

「経営基盤がしっかりしていないと報道の自由も掛声倒れになりますね。」

「だから新聞社の多くは新聞以外の事業や不動産にウエイトを置いて、報道の自由を守ろうとしている。放送会社は政府・総務省に電波管理されているので報道の自由はかなり制限されると言われる。ただ、政府にしても言論の自由を制限することになったら相当な覚悟があるので、なかなか表立っては制限しない。誘拐事件などは報道側が自主規制していることもある。」

「アメリカは報道の自由、言論自由を大切にしているように見えますが。」

「叔父さんはアメリカのワシントンDCにいる友人といろんな話、情報交換をしているが、表向きはそう見えるだけで、現実と言うか裏での動きとの差が大きいという。アメリカのメディアも結局、国益に沿って報道しているというのだ。例えば先のイラク攻撃で大量破壊兵器を保持していることを理由にしたが、アメリカのメディアは反対せず、むしろ当然という論調だった。」

「そうですね。報道という仕事も大変ですね。」

「しかし、イラクのどこにも大量破壊兵器はなかった。後で誤りを認めたが、どれほど多くの人民を殺戮したのか。これに対する裁きは一切ないわけだ。彼が言うには日本人の多くはアメリカと仲がよいと思っているだろうが、本当にいいのかどうかかわらないという。また中国とソ連は仲が悪いと言われているが、水面下では手を握っているという人もいるという。報道の自由、言論自由についても表と裏があるということは新聞記者を父に持つなら知っていてもよいのではないか。」

「そうですね。すべて人間のすることですからきれいだとは済まされないことも多いでしょうね。特に外交とか国益のこととなるとどうだろうと思います。」

話が横道にそれたが、父親に関することはできるだけ話そうと考え、健太郎が現役時代の思い出を話した。舞がひよつとして新聞社に興味を持っているのか、確かめる思いも多少、あった。

しかし真三は話が抽象的で広がり過ぎてはと思いなおして話題を変えた。

「ところで舞さん、就活はどうしたの？」

突っ込んだ話に切り替えた。舞はしばらく黙って考えている風であった。

「いや、最近の就活についてなにか思いつくことがあるの？」

「はじめはやはり東京系企業で働きたいと思いました。」

「大学も東京を受けたの？」

「私学はあきらめ、首都圏大学一本に絞りましたが、結局ダメでした。就活で不利だと思いましたが、仕方がありませんでした。」

「それで京都に行ったのだね。」

「そうですね。名古屋でも良かったのですが、一度どうしても親元を離れてみたい気持ちがありましたので、母に無理を聞いてもらいました。」

「そうだったのか。音楽関係の企業を受けたの。」

「また吹奏楽をやりたい気持ちでございましたが、そういうクラブ活動の熱心な企業を選びましたが、動機としてはどうかと就職担当の教授にも言われました。結局、エントリーシートは数社に出しましたが、ほとんど面接まで行けませんでした。音楽関係の企業は中小企業が多く、募集もほとんどありませんでした。」

「舞さんの就職には関係がないが、これから先の就活も変わるようだね。」

「確かに就活の解禁時期が早いような気がします。」

就活というのは就職活動の略称である。新卒、つまり中学・大学・大学院の卒業見込みの者、また失業者やフリーターなど非正規社員が企業や官庁の正規雇用を求めて活動する。

大学生の就職については一九七三年〜一九九〇年、学業の妨げにならないように一定期間、企業は学生にアプローチしないという内容の就職協定が結ばれた。ところが青田買いなどで徐々にこの協定が意味をなさなくなり、ついには廃止された。大学側から学生の拘束期間を是正する要望が出され、多くの企業は学生が教養の期間を終え専門分野の過程にある三年生の十二月から解禁、試験を翌年の四月とする紳士協定を二〇一五年卒まで結んだ。

しかし、現状は四月一日以前に採用試験をしている企業が多いと言われる。大学側からさらなる是正の要望が出され、これを受けて政府は経団連に対して二〇一六年卒から後ろ倒しにすることを求め、解禁三月、選考開始は四月から八月に移行する指針を示した。

「売り手市場の現状で本当に守られるのか」と疑問を投げかける企業も少なくない。人材の争奪戦が激しさを増す中で、二〇一六年三月まで企業がじつと待つとは考えにくい。就活の早期化、長期化を抑えられ、大学生活の圧迫がかつてより解消されることが期待されるが実態はどうかと思う。

現に解禁や採用が後ろ倒しになる一方で、解禁前(大学三年生の八月ごろ)のインターンシップでの活動が就職に有利になるということで脚光を浴びていると言われている。

売り手市場ということもあって、インターンシップ参加希望学生が急増しているそうだ。恐らくインターンシップを利用して水面下で学生の囲い込みを行っているのではないか。解禁前のインターンシップに就活を控えている学生側が混乱するのではないかと懸念も出ている。また、短期化によってより一層有名大学に偏重するという見方もある。さらに、この協定はあくまで経団連に所属する企業の協定であるため、中堅中小企業やベンチャー企業はこの新しい協定を守らないだろうと見られている。

「学生も早く内定をもらいたいと思っていますから、就活を後ろ倒しにしても、OBやOGと接触して情報を得ようとするのは間違いありません。官庁や新聞社、大手企業は試験日を公開して政府の方針をきっちり守るでしょうが。」

「そらそうだね。いろいろありそうだね。いずれにしてもころころ変わるのには、学生にとっても迷惑だね。またグローバル企業は随時、採用しているようだね。」



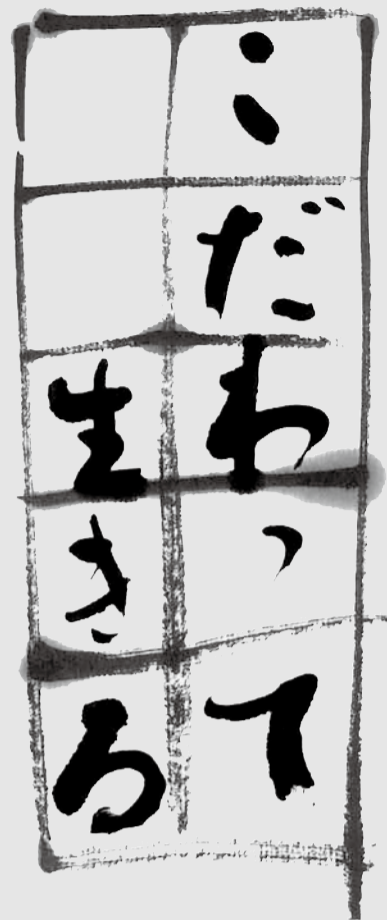
プロフィール

著者・岡田清治おかせいじ

一九四二年生まれ ジャーナリスト (編集プロダクションNET108代表) 著書に『高野山開創二百年いっばんさん行状記』『心の遺言』などは社員の全能力を引き出せますか!『リヨンで見た虹』など多数

※この物語に対する読者の方々のコメント、体験談を左記のFAXかメールでお寄せください。今回は「就職」「日本のゆくえ」「結婚」「夫婦」「インド」「愛知県」についてです。物語が進行する中で織り込むことを試み、一緒に考えます。 FAX:0569-34-7971 メール:takamitsu@akai-shinbun.net

絵手紙集



絵文 縦山善久

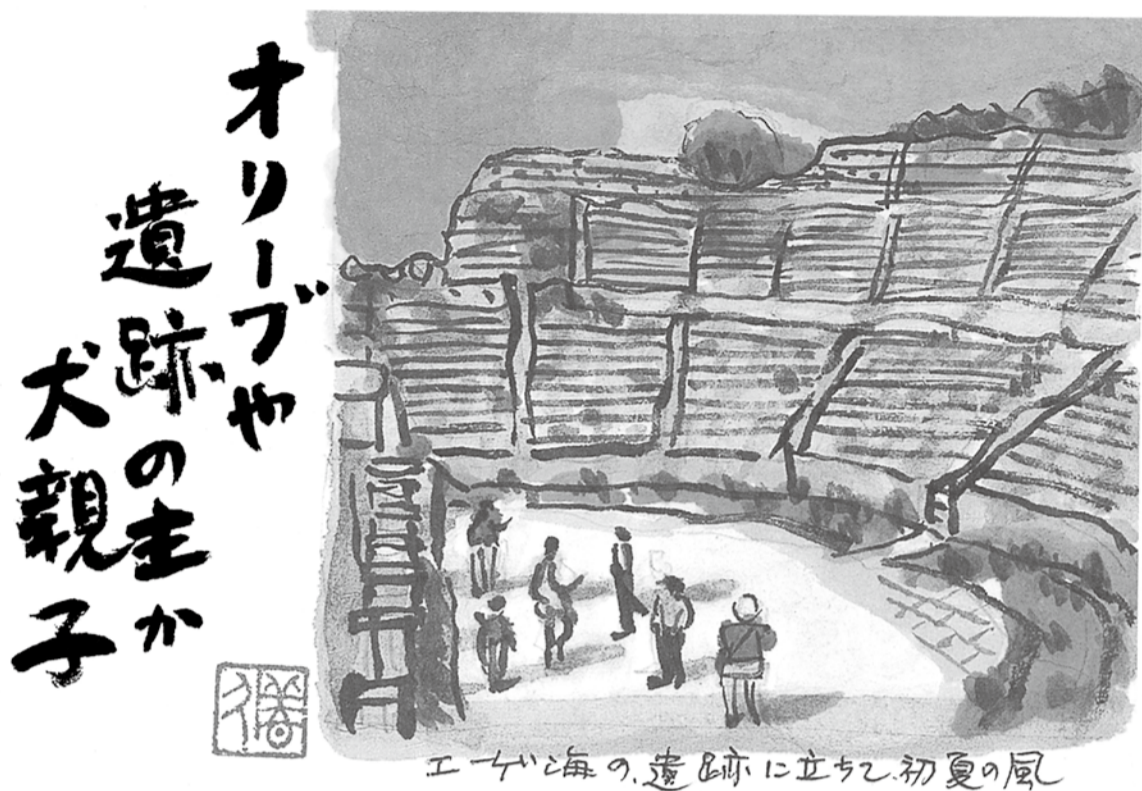
返文 小林玲子

縦山善久

昭和十一年碧南市で生まれる。丸栄陶業株式会社代表取締役。碧南商工会議所会頭。愛知県陶器瓦工業組合理事長。全国陶器瓦工業組合連合会理事長などを歴任。平成十三年藍綬褒章受賞。平成二十二年旭日小授章受賞。丸栄陶業株式会社取締役会長 現在に至る。京都造形芸術大学・通信教育部芸術学部美術科・洋画コース大学院修士課程一回生。

小林玲子

碧南市に育つ。西尾市在住。共著「西尾の民話」童話「サケの子ピッチ」随筆「海辺のそよ風」(中経コリアム「閑人帳」より) ミュージカル脚本 「みぐりちゃんのおうち」ほか



エーゲ海の遺跡に立ち、初夏の風

五月にトルコを旅行し、初日成田からイスタンブール迄は、直行便で十二時間。首都アンカラ、最大都市はイスタンブールで、面積は日本の二倍、人口は七千二百万で、イスラム教九十九%の国。翌日はトイ遺跡観光。三日目地中海文即エフェス都市遺跡は、クレオパトラとローマの名将アントニーが歩いた大理石道。図書館公家トイレ、娯楽、猛獣と剣士の戦いが行われた二万四千人収容の大劇場のあり、ローマ帝国はヨーロッパ全体の人口二十四万人の待てた。

待っていました。

トルコ行進絵♪イスタンブ・イスタンチノブ・イスタンブ...

昔、歌で知った地名です。なんだか懐かしい。彼の地は歴史が古いので右も左も遺跡ということでしょうが、

実感され感激されたことと思います。羨ましい限りです。それでも十日間はなかなか辛いことと思えますね。お帰りになつてから疲れが出ます。

どうか暫くご休養されますように。

それでも様々なトルコの絵を楽しみに致しております。

ああいなアと溜息をつきながら...

大劇場跡で犬の親子に心をとめられ旅情を感じます。

知多の動植物雑記(三二二)

原 穰

アア、今夜も考えることないのか、なんて思いたが、ふと目にしたTVの歌番組「生きて行くのが、つらくなるよな長い夜、こんな気持ち、誰もわかつちやくれない」エエッ！俺と同じだよ。こんな歌詞が身にしみるなんて、淋しい限りだ。理由



外来種も定着して美しい

ざかりかと、散歩に出れば、武豊高校北部の道路に面した広い斜面に、ヒルザキツミソウ(写真①)が所狭しと咲いている。わあー見事と思う反面、昼間に月なんか見えないうちなんて疑問も出るが、実は、白花の種が、夕方に咲き、朝

はとも角、そんな気持ち、紛らわすより他に方法はな

にしぼのに対し、本種は屋間に咲くので、この名が付けられたか。

この花の咲き乱れる斜面のK邸の若奥様に「美しい花場ですわ」と言えは「草刈りが大変ですヨ」のお言葉に、「そうですね」しか言えなかった。

ちよつとおじやまします 加藤 明夏さん. Article about pottery and tea. Includes photos of a teapot and a woman.

島旅回廊 ~宇宙のパワー~

半田空の科学館・半田市体育館 館長 池田 昇

高校2年生で初めてハワイを旅して以来、ハワイの魅力にはまり、20数年の間に60回ものハワイ旅行を体験し、38歳でハワイに移住しました。

時々このような質問を受けることがあります。「ハワイの中で一番好きな場所はどこですか?」。私は迷うことなく「マウナケア」と答えます。

ハワイ諸島最南端の島、ハワイ島にある「マウナケア山」は、富士山よりも遥かに高い4,205mの山です。「マウナ」は「山」、「ケア」は「白い」。

頂上付近は年間300日以上が晴天。水蒸気が少なく、大気が安定し、北半球と南半球の90%以上の星空が見渡せることから山頂には現在、世界11カ国の研究機関による13の天文台が設置されています。

頂上までは車で行くことができます。私はネイチャー・ガイドとしてこの山で働いていました。観光客の方々を大型バンに乗せてマウナケアの頂上まで登るツアー・ガイドです。

日没後は一転、モノクロームの世界がやって来ます。マウナケアの夜空は星が空を埋め尽くします。星が多すぎて星座が判りにくいほどです。

美しいものを見るためにはリスクもあります。山頂の気温は真夏でも0度。空気の量は地上の60%。ゆっくり歩かなければ息が切れます。



山頂の天文台



マウナケアツアー用バン

若竹俳壇

毎月十日までに集書して発行所へ

時々は休んではまた鯉のぼり 食道を急降下して心太 新茶汲む急須の蓋に穴一つ

- 吉田ひろし 齊藤 浩美 加藤 久子 片岡 光子 杉江 民子 塚本 千鶴 谷川と志江 古川 義高 古川三恵子 竹内三子彦 谷川 利子 澤田 藤子 平野 紀江 村井みさを 久田 笙子 中尾 節也 浦崎ひとみ 桑山 撫子 清水ドラ吉 杉江 悦子 富田 悦子 中山 洋子 林 京子 藤井 文月 江端 久恵 村井 範子 竹内 範子 山中 博子 服部 薫平 荒川 達雄 都築 洋子 中村 洋子

- 後五時半 無料 ◎常滑屋 一岩田芳光 切り絵アート展 JAPAN 九日(火)〜十四日(日) ◎陶芸サロン陶美園 おもしろ布のたのしい装い展 中根由美子染色作品展・五日(火)〜十四日(日) ◎ギャラリーとこなめ ◎ギャラリーとこなめ (常滑市陶磁器会館内) ◎常滑陶磁器会館内 常滑陶磁器展・二日(火)午前九時〜午後五時 齋田清陶展・四日(木)〜九日(火)午前九時〜午後五時 青天窯グループ展・十一日(木)〜十六日(火)午前九時〜午後五時 粉引き展・新井尋詞・十八日(木)〜二十三日(火)午前九時〜午後五時 ◎陶房杉 夏の器展・二十五日(木)〜三十日(火)午前九時〜午後五時 ◎小ギャラリーとこなめ (常滑市陶磁器会館内) ◎おしやれな(二)盆裁と器展・柴田勝一・二日(火)午前九時〜午後五時 ◎季節もの陶展・陶磁器会館・四日(木)〜九日(火)午前九時〜午後五時 ◎一善陶展・八木孝幸・十一日(木)〜十三日(火)午前九時〜午後五時 ◎板村忠也陶展・二十五日(木)〜三十日(火)午前九時〜午後五時 ◎方戸館 ◎中川貴子陶展・十日(木) ◎相羽久仁寛陶展・十二日(金)〜二十四日(日) ◎武豊町立図書館 ◎切り絵展(かいつづりの会)・十九日(金) ◎武豊町中央公民館 ◎パソコン広場展・四日、十一日、十八日、二十五日各(木)午後一時半〜四時 問合せ NPO知多ネット鈴木 74-0125 ◎多肉植物の寄せ植え教室・五日(金)六日(土)各午前九時〜正午 講師 杉江鮎子さん(ハンキングバスケットマスター) 定員 各十名 参加費 二千元 (材料費込) ◎家庭教育セミナー「進んで学習する子を育てるには」・九日(火)午前九時〜正午 参加費 無料 問合せ 知多家庭教育研究会 山下 72-1902 ◎親業体験学習会 批判しないで、共感的に話を聞く練習・九日(火)午前九時四十分〜正午 講師 親業訓練協会認定インストラクター 参加費 千円 問合せ 親業サークル稲葉 72-17138 ◎そば打ち教室(そば・そば・二六日(金)・二七日(土)午前十時〜午後一時 定員 各十名 講師 ゆめすけ 参加費 千七百円(材料費込) ◎武豊町民会館 ゆめたるうらラザ ◎第二十一回絵画展・二日(火)〜七日(日)

- ◎KRJAクラヤ〜北歐白夜の森から天使たちのヴォイス〜十二日(金)午後七時開演 演奏曲 映画「やまひら」の子どもたちより「農夫とカラス」スファンテの歌、浜辺の唄 ◎ブラックボトム プラスバンド スーパーライブ・十三日(土)午後三時開演 演奏曲 聖者の行進「ニューオリンズ・サンバー」他 日本最強のニューオリンズ プラスバンドが武豊にやってくる! ◎レット・ロケット製作会・NEXTを使って、ロボット製作とプログラミングを体験・二七日(土)午前十時〜午後四時 定員 六名(高校生以上) 参加費 無料 ◎武豊町総合体育館 ◎体育協会卓球部夏季町民大会・七日(日) ◎第二十三回キッズビーチボール大会・二日(土) ◎体育協会バレーボール部夏季レディーズ大会・十三日(日) ◎体力チェック・二七日(土) 定員 二十名(二十才以上の男女) 参加費 無料 ◎長尾児童館 ◎親子で遊ぼう〜三歳児対象・五日(金)午前七時半〜同十一時半 ◎くすのき児童館 ◎くすのきギネスに挑戦・二一日(土)午後一時半〜同三時半 要申込 ◎おあし児童館 ◎ドッジビー大会・十三日(土)午後二時〜同三時半 申込不要 ◎富貴児童館 ◎ありがとうを伝えよう・十三日(土)十四日(日)各午前十時半〜同十一時半 午後二時〜同三時半 要申込 ◎シャボン玉で遊ぼう・二十八日(日)午後二時〜同三時半 申込不要 ◎半田空の科学館 ◎お花を愉しむレッスン・①ホリソナルデザイン・六日(日) ◎父の日をイメージしたアレンジ・十八日(日)午前十時〜同十二時半 定員 各十名(一般) 参加費 二千六百円 ◎六月の星見会 月と地球照を観察しながら土星・金星・木星を観察・二十日(土)午後七時半〜同九時 参加費 大人三百円 小学生二百円 定員 六十名(小学生以上) ◎楽しい電子工作光る星座BOX・二一日(日)午後一時〜同二時半 参加費 四百円 定員 十名 ◎碧南白木材(株) ◎白竹ギャラリー ◎手作り味噌教室(味噌・赤みそ・米味噌(白みそ)どちらか選択・十三日(土)午前十時〜正午 参加費 三千七百円(容器代込) 定員 十五名 申込要 ◎大高五佐代 二十五周年創作アップリケ布遊(ゆづ)〜アップリケの布絵アート・十二日(金)〜十六日(火)

わが家のニューフェイス



小林^{そうた}聡太(2才4ヶ月) 愛菜^{あいな}(5才) 武豊町北中根

愛とMy Family



鯉江^{ほのか}穂乃花(10才) 光梨^{ひかり}(7ヶ月) 帆夏^{ほんな}(8才) 常滑市飛香台

写真・文	とに挑戦してね。	愛も頑張りな色々	今日も頑張るぞ!!	皆もビッソリ練習するよ!	そして次は連続上りかきやうに	なつやの逆上りかきやうに	てやの逆上りかきやうに	なつていよ。	最近毎日練習し	ここの大木に	歳がすすむと	こんにはは。
------	----------	----------	-----------	--------------	----------------	--------------	-------------	--------	---------	--------	--------	--------



写真・文	いで遊ぶに行きたいな。	けるようになつて三人の手	くれるから大好きなんだ!	せてくれるら大好きなんだ!	てくれたいよ。	お姉ちゃんがいっぱい遊ぶの	がたから楽しめよう。	がら行きたいよ。	て家の中を探検し	るよ。	て家の中を探検し	鯉江光梨です。
------	-------------	--------------	--------------	---------------	---------	---------------	------------	----------	----------	-----	----------	---------



おもしろ布の楽しい装い展
 中根由美子 染色作品展
 2015年6月5日(金)～6月14日(日)
 6月14日(日)最終日は16時で終了します。
 10時～17時(水曜定休)

今回の新作は型染の技法で染めました。モチーフは雑草です。野の草花で色々な遊びをしたころを思い出しながら試行錯誤しています。こころ、夏の装いをお楽しみください。



あかい新聞店スペシャル企画 ちたろまん連載 200 回記念トークライブ 「元気の出てくることばたち」

紫陽花の美しい季節、いかがお過ごしですか。
 ちたろまんでおなじみのふたり、元NHKアナウンサー村上信夫と俳画家でフルート奏者のイネ・セイミの17年ぶりの共演です。
 「元気の出てくることばたち」のお裾分け、朗読、フルート演奏、参加した皆さんとの交流会・・・
 そして、常滑の新鮮な食材と白老の美味しいお酒で舌鼓をうってもらおうという趣向です。ふるってお申し込みください。



村上信夫

1953年、京都生まれ。元NHKエグゼクティブアナウンサー。1987年から92年までNHK名古屋放送局で『ウィークエンド中部』、2001年から11年に渡り『ラジオビタミン』や『鎌田實いのちの対話』など、NHKラジオの「声」として活躍。現在は、全国を講演で回り「嬉しい言葉の種まき」をしながら、文化放送「日曜はがんばらない」月刊『清流』連載対談などで、新たな境地を開いている。
 各地で『ことば啓き塾』主宰。
<http://murakaminobuo.com>



イネ・セイミ

13歳よりフルートを始める。1990年、初リサイタル。クラシックのみならず、さまざまなジャンルのアーティストや海外の一流演奏家ともジョイントし、幅広い演奏活動を展開。最近、インディアンフルート奏者としても活躍。2012年、世界一周クルーズ「飛鳥II」にて講師として招かれ、北米を1ヶ月東船。日本インディアンフルートサークル協会ディレクター。

2015年7月4日(土) 会場 常滑屋 常滑市栄町3-111 ☎0569-35-0470
 会費 6000円 (飲食費込み・豪華景品が当たる抽選会アリ)
 17:30 開場
 18:00 舌鼓会
 19:00 トークライブ

企画・お申し込み 要予約
 あかい新聞店 常滑店 ☎0569-35-2861
 武豊店 ☎0569-72-0356

陶芸サロン
陶美園

〒479-0838
 常滑市鯉江本町6丁目36番地
 ☎(0569)35-2320

